

令和 7 年度 大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会 議事要旨

開催日時：令和 7 年 12 月 4 日（木）午後 3 時 00 分から

場 所：ホテルプリムローズ大阪 2 階 鳳凰東の間

出席委員：12 名

小野会長、三木委員、堀ノ内委員、石井委員、山橋委員、西田委員、杉江委員、橋爪委員、上市委員、湊上委員、糸島委員、川合委員

議題 大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

<出席委員からの主な質問・回答・意見等>

【質問】

・生産者代表及び消費者代表の委員の皆様から、食品の供給について、府市場をどのように評価されているのか、また、輸送事情を始めとした社会情勢が変化中、この市場の存在意義をどのようにお考えなのか、この 2 点についてお聞きしたい。

【各委員 回答要旨】

・消費者としては、天候不順や物流の滞り等により、食品の安全性や配送状況を心配することもある。消費者にとって、公の施設である府市場が存在すること自体が、様々な食品を安全かつ安定的に入手できるという安心に繋がっていると思う。存在するのが当然であり、存在意義は大きいと思う。

・府市場は、公共交通機関では少し遠い立地のためか、消費者にとって身近な存在と言えない面もある。

・府市場は、交通の利便性が高く、面積が広大であるため、トラックの待機時間の心配が少なく、産地からすると出荷する上で魅力的な市場といえる。また、中国地方や四国地方などの遠隔地への輸送について、府市場を活用できる余地があると考えており、ハブ機能の面からも非常に期待している。

【その他の意見】

- ・府市場は、交通アクセスが良い立地であることから、非常に魅力的である。
- ・再整備後の使用料についても、他市場の状況や最終的には消費者の負担に転嫁されていることを認識いただき、検討してもらいたい。
- ・再整備の議論をする上で、府内に存在する3つの中央卸売市場の役割分担をどうするのか、まずグランドデザインを描いた上で、府市場はどうあるべきかという発想を持ち、府市それぞれの開設者同士で十分な意見交換をしてもらいたい。
- ・府市場の再整備は、一般会計から財源措置をすれば、すぐに再整備実施を決定できる。府市場は年々施設の老朽化が進んでおり、今後は補修箇所も費用もさらに増加していくと思われるため、早く再整備を実施すべき。
- ・府市場の再整備に関する懸念は、再整備後に使用料が増額となること。この懸念が解消されると、再整備は一気に進んでいくと思う。

【事務局 回答要旨】

- ・食に関するイベント、市場見学の受入れ、HPでの発信等、様々な機会を活かし、府市場の存在意義を今後も引き続き発信していく。
- ・橋下知事の時代に、府内に3つの中央卸売市場が必要なのかという議論があり、その時点では、各市場には各々強みや弱みがあるので、その強みを生かした運営を各々で行っていくという一定の結論が下された。この方針は、現在も変更はない。ただ、開設者同士の密な情報交換は引き続き行っていく。
- ・再整備については、再整備に向けた検討を再開するか否かについて、令和9年度当初に府から場内事業者の皆様へ意向確認を行うことになっている。現在は、場内事業者の皆様が設置され、府もオブザーバーで参加している「今後の市場のあり方検討会」において、課題を整理し、どのようにすれば場内事業者の皆様の

合意形成が可能かという具体的な議論をしているところ。本日頂戴したご意見については、そちらで更に詳細な議論をさせていただきたい。